

## 第15回鳴門市市民活動交流研修会で3団体が活動報告

平成29年1月28日(土)、キョーエイ鳴門駅前店4階イベントホールにおいて、「第15回鳴門市市民活動交流研修会」が開催されました。

午後から行われた市民活動報告の部では、3団体の代表者からそれぞれ、日頃取り組んでいる活動について報告、発表が行われました。

堀江地区自治振興会の小川会長からは、堀江地区自治振興会が13地区の自治会長らが中心となって、コスモスの花づくりや文化展などの地域活動を展開していることが報告され、今後とも堀江地区に多く

存在する地域資源を生かした地域づくりに積極的に取り組んでいきたいとの思いが語られました。



堀江地区自治振興会 小川会長



NPO 法人ジョブ OB ネットワーク  
仁尾理事長

次に、NPO 法人ジョブ OB ネットワークの仁尾理事長からは、自らがNPO 法人を立ち上げた経緯や思いが話され、「シニアの社会参加の応援」を法人のミッションとして、“この指とまれ”方式で進めてきたこれまでの同法人の様々な取り組みや、現在、鳴門市の We Love なるとまちづくり活動応援補助金を活用して取り組んでいる「シニアの地域デビュー支援講座」等の紹介を通じて、新たなシニアの地域社会活動への地域デビューを呼びかけました。

3団体目の報告は、株式会社大塚製薬工場の藤井さんより、同製薬工場が、数年後に定年を迎える社員に対し、実施しているライフプランセミナーの中で、健康で豊かな人生を送るためには、体の健康だけにとどまらず、生きがいなど心の健康をつくっていく選択肢のひとつとして、地域社会とつながるという視点も取り入れ、運動・栄養を含めた3つの要素考えるプロジェクトを始動させ、企業におけるセカンドステージに向けた新たな試みをスタートしたことが報告されました。



(株)大塚製薬工場 藤井さん

## ~「この指とまれ! マッチング!」などの特設コーナーもにぎわう~



親たちの縁の会 出前講座



パソコンなんでも相談室



NPO 相談



ドローン活用講座

# We Love なると

## まちづくり活動応援補助金 活動団体報告



平成28年度は、9事業が採択された「WeLove なるとまちづくり活動応援補助金」。  
市民の皆さんの「鳴門を良くしたい!」という思いがたくさん込められています。  
今回も、これまでに実施された活動団体2団体からの活動報告をお届けします。

### -----「てとてとて 子育て・親育ちプロジェクト」

(実施団体) なるとにしあそびラボ「てとてとて」-----

私たちは、成稔幼稚園・鳴門西小学校の読み聞かせボランティア「お話チョボラ」で読み聞かせをしています。この団体を母体として、「学校の枠をとびだして、子どもとおとなと地域をつなげるような活動がしたいなあ!」「もっと広い視野で子育てを考えることができればなあ!」と、2013年に、なるとにしあそびラボ「てとてとて」を立ち上げました。

今年は「子育て・親育ちプロジェクト」として、4つのワークショップを企画、開催いたしました。  
vol.1:「絵本作家サトシンさん絵本ライブ 絵本読みま&楽しみまショー!」

9月24日(土) うずしお会館

歌ありおてて絵本あり、笑いあり涙ありのすばらしいもので、約130名の参加者の皆さんと熱い時間を過ごしました。

vol.2:「親子 de えほん」

11月12日(土) ポートレース鳴門 ROKU

好きな絵本を持ち寄って、みんなで絵本を読み合うまったりほっこりした「親子 de えほん」。お父さんや中学生の男の子も参加しましたが、やっぱり読んでもらうと楽しいなあと再確認しました。



vol.3:「子どもを伸ばすお手伝い」

1級家事セラピスト 糸井優子(くめいゆうこ)氏

12月10日(土) うずしお会館

満員御礼60名以上の申し込みがあり大変反響がありました。「お手伝い」には、子どもにとって大切なことがたくさん隠れていて、いつから初めてもおそくないという言葉に、背中を押される気持ちになりました。



vol.4:「考えよう!ぼくのわたしのお小遣い」 鳴門教育大学准教授 坂本有芳(さかもとゆか)氏

1月28日(土) うずしお会館

約30名の参加がありました。「お金は限りあるもの。お金は手段であって、なにが目的なのかをよく考えよう。予算を立てて記録をつけてみよう。使えるお金の10分の1を貯金して、100分の1を寄付しよう。」など、とてもわかりやすく大人にとっても目から鱗の連続でした。

どの会も大変有意義に過ごすことができました。本当にありがとうございました。



-----「第九だいすき♪ 鳴門だいすき♪」

(実施団体) 音楽劇バンドー少年物語実行委員会-----

第2回『朗読カフェ in 第九の杜』を、1月22日(日)に賀川豊彦記念館で開催しました。今回も、15組16名の方々のたいへん篤い朗読のおかげで、来場者はもとより「テレビ鳴門」の放映を通じて、「ドイツ兵士と板東の人々の交流」や「第九」への理解が一層深まることと有り難く思っております。



特筆することは、鳴門渦潮高校生6名のエントリーです。若者が「バンドーの史実」を語り伝えてくれることは、次の100年に向かう「なるとの第九」の大きな原動力となることでしょう。

『You~You「第九」』は、ドイツ語で「第九」が歌えるようになった喜びを、人から人へとつないでほしいとの願いから始まりました。「近所で、無料で、ドイツ語で歌える楽しい第九」がキャッチコピーです。

木津婦人会や瀬戸婦人会、黒崎自治会や吉永長寿会、鳴門ロータリークラブや鳴門ライオンズクラブをはじめ、多くの皆様のご協力くださり、「敬老会」や地域行事のステージでも「第九」を演奏してくださるようになりました。皆様に心からお礼を申し上げます。

いよいよ来年、鳴門市は「第九」アジア初演から100周年を迎えます。



活動報告は、「市民協働のまちづくり」のウェブサイトでも紹介しています。ぜひ一度、チェックしてみてください。



鳴門市 市民協働のまちづくり

<http://www.city.naruto.tokushima.jp/contents/shiminkyodo/>

鳴門市市制施行70周年記念事業 ポートレース鳴門プレゼンツ

# WeLove<sup>♥</sup>なると まちづくり活動応援補助金 事業選考検討会

(応募団体による公開プレゼンテーション)

**とき** 平成29年3月25日(土)  
午後0時30分~

**ところ** うずしお会館 2階  
第1会議室

各団体の熱い思いを  
ぜひ感じてみてください!



## 未来に届く手紙で絆を大切に！

NPO法人 花見山心の手紙館 理事長 渡辺 浩幸



鳴門海峡が一望できる花見山  
心の手紙館

平成 25 年 3 月 3 日に「花見山心の手紙館」はオープンしました。設立のきっかけは東日本大震災です。宮城県の被災地に震災約 3 ヶ月後に訪れた時、たくさんのボランティア活動をしている方を見て、人と人とのつながりが非常に大事であると実感しました。

自分には何ができるのかと思い悩んだ末「手紙のタイムカプセル便」にたどりつきました。自分や家族・大切な人に出すことによってより強い絆を深めることができると思ったからです。

小高い山を登ったところにある、「花見山心の手紙館」は、鳴門海峡・大鳴門橋や淡路島などが一望でき、春に咲き誇る 350 本のしだれ桜や四季の花木に囲まれている館内で、自分が書いた手紙を 1 年から 5 年後の希望する年月にお届けいたします。

今、あなたが感じていることを手紙にして伝えませんか。

記念日や誕生日、人生の節目のときに又、自分自身を励ますために。元気に前に進むために。書き留めておきたい思いや伝えたい感謝の気持ちをこの場所ですづりませんか。

あなたからの「心の手紙」を未来のあなたや大切な人にお届けします。なお、インターネットや FAX からのお申し込みも受け付けております。

連絡先：〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛 234-35  
電話 088-687-3555 FAX 088-687-3566

「ふくろうの森」が認定 NPO 法人となりました！



平成 29 年 1 月 23 日、特定非営利活動法人「ふくろうの森」が、特定非営利活動促進法（NPO 法）第 45 条第 1 項の規定により、徳島県より同法第 2 条第 3 項に規定する認定特定非営利活動法人として認定されました。

同法人は、徳島県が昨年 1 月創設した「徳島県指定 NPO 法人制度」を活用し、昨年の 12 月に指定を受け、今年の 1 月上旬に認定申請していたものが今回認められたものです。

これで、徳島県内の認定 NPO 法人は 5 団体となり、そのうち鳴門市内の認定 NPO 法人は、認定特定非営利活動法人鳴門「第九」を歌う会に続いて 2 団体目となります。

認定 NPO 法人を受けた秋山理事長は、「今回の認定を受け、補助金等も受けやすくなり、活動の幅が広がるとともに、賛助会員の皆様にも税の優遇措置で、より賛助していただきやすくなりました。認定 NPO 法人として、これまで以上に、鳴門市民や県民の皆さまに愛され信頼される法人として成長できるよう会員、スタッフの皆さんとともに頑張っていきたい。」と話されています。